

一、次の文章を読んで後の設問に答えなさい。

なぜ、都合のよいことしかおぼえていないのか？

人は自分に都合のよいことを拾い集めながら生きている

老いは、誰にとっても①ネガティブなものです。無理が利かなくなったり、腰や膝が痛んだり、白髪やしわが出たりすると、「ああ、年をとったな」と、ため息をつく人はいても喜ぶ人はいないでしょう。

ある老人自身は②ポジティブであることが、昔から心理学では大きな謎でした。あなたの周囲にも90歳を越すような高齢でありながら、特に死を恐れることもなく、機嫌よく日々を送っている人がいるのではないだろうか。

そのような人たちを見ていると気づくのが、どうやら老人は自分に都合のよいことや楽しいことしか覚えていないらしい、ということなのです。俳句を投稿して入選したこと、日曜日に孫が訪ねてきたこと、バス旅行に行ったこと。最近何があつたかを尋ねると、そのようなことは話しても、切符を買おうとして金額がわからず、行き先表示をじっとA見ていて後ろの人にイヤミを言われたことや、孫が小遣いをもらったらさっさと帰ってしまったことや、知人に陰口をきかれて不愉快だったことなどを話す人は、まずいませぬ。意図的に話さないのではなく、覚えていないのです。

老人に限らず、もともと人の気分は、ネガとポジの真ん中ではありません。うつの人などはネガ寄りですが、通常は真ん中よりもポジ寄りなのです。なぜかという点、人はみな、自分が死ぬことを知りながら生きているからです。いつか必ず死ぬとわかっていながら生き続けるには、「自分には生きている②□がある」という自己肯定感や、「自分は生きる③□のある存在だ」という自尊感情が必要で、それがないと人は生きていけないのです。

そのため人は、自分という存在を肯定し、自分の価値を高めてくれる情報、言い換えれば自分にとって都合のよい情報を、無意識のうちに拾い集め、記憶し、脳のなかに蓄積していきます。イ、気分を真ん中よりもポジ寄りに保つことによって、生き続けるのです。

この基本的なしくみは若者も老人も同じなのですが、若者の方がネガティブなことに目が向きやすく、老人はポジティブなことの方により目が向きやすいのです。実際に、悲惨な写真と楽しい写真を見せると、若者は悲惨な写真を見る時間が長く、老人は楽しい写真を見る時間が長いという実験結果があります。

理由の一つとして、生きていく上で必要な学習機能として、若いうちはネガティブなことに目が向くのではないかと考えられています。人生の④端緒たんじょを開いたばかりの若者にとって、これからのB長い時間を生き抜くには、他人はどのようなとき自分を攻撃し、自分ほどのような状況で傷つき、どのように苦しむかといったことを、ネガティブなことに敏感になって学習し、⑤それに対応できるようにする必要があります。

それに対して老人は、さんざんネガティブなことを経験してきましたから、もうそのようなことを学習する必要はありません。しかも、高齢になって残された時間が短いことを認識するようになると、気分をポジティブに保つことが、今後の人生を生きる上で重要になります。ネガティブなことに目を向けるよりも、ポジティブなことに目を向けた方が生きやすいため、注意力や記憶力という「限られた資源」を、ポジティブなことに当てるようになるのです。

こう考えると、若いころは敏感で傷つきやすかった人が、大人になるに従って感性が鈍くなっていくのも、中年になると、若いころ苦しんだことが嘘のように楽になるのも、⑥説明がつくような気がします。

都合の悪いことを忘れるのではなく、思い出さない

ところで、「老人は自分の都合のよいことしか覚えていない」と書きましたが、では、ネガティブなことは忘れてしまふのかといえば、そうではありません。忘れるのではなく、端はなから覚えていない、ウ、たとえ覚えていても思い出さないので。ここで、簡単に記憶のしくみについて述べておきましょう。

「記憶」というと、あなたほどのようなことを思い浮かべますか？「子どものときの体験」「最近読んだ本の内容」「人の名前」など、言葉として表現できる記憶のことが、すぐに浮かぶと思います。これらの、言語化することが可能な記憶を「顕在けんざい」記憶(または宣言的記憶)」と呼びます。しかし記憶には、泳ぎ方や道具の扱い方、営業相手の心のつかみ方など、うまく言語化できないものもあります。この、いわば体で覚えた記憶を、「潜在記憶(または非宣言的記憶)」と呼びます。

そして、言語化可能な記憶である顕在記憶は、日常的な個人的体験の記憶「エピソード記憶」と、人々に共有されている知識としての記憶「意味記憶」とに分けられます。「子どものときの遠足の思い出」はエピソード記憶、「歴史上のできごと」や「有名人の名前」は意味記憶です。

では、私たちはどのようにして、物事を記憶するのでしょうか？記憶は「記録↓保持↓想起」という、3段階のプロセスから

なると考えられています(脳を情報処理機構と考える最近の記憶の情報処理モデルでは、このプロセスを「符号化↓貯蔵↓検索」ということもあります)。「記憶」とは、記憶すべき事柄を覚えること。「保持」とは、覚えた内容を忘れないでいること。「想起」とは、覚えている内容を思い出すことです。エ たとえば中高年になるとよくある、喉まで出かかっている名前が出てこない状態は、記憶と保持はできているけれど、**⑦想起ができないのです**。その証拠に、ふとした拍子に「あ、鈴木さんだった」などと思いつくだけで、想起力が衰えているだけで、**記憶が失われてしまったわけではない**です。

保持に関しては、認知症の場合などは別として、通常は、いったん覚えた記憶そのものがなくなってしまうことは、ほとんどないとされています。保持力は、さほど衰えないわけです。ならば、記憶力はどうでしょうか？

記憶の元となる体験や知識は、まず目や耳などの感覚器官から取り込まれますが、その時点で脳の前頭葉の機能によってふるいにかけられます。私たちは、見たもの聞いたこと的一切都を脳に送るわけではなく、自分が注意を向けたものだけを、脳に送ります。そして、**脳のなかの⑧海馬**か**いば**という器官に、短期記憶としていったん貯蔵します。

短期記憶は、大部分が失われます。海馬に貯蔵されている間に、繰り返し思い出されることで強化されたり、別の事柄と関連づけられて一塊ひとかたまりにされたりした記憶だけが、脳それぞれの場所に送られ、長期記憶として保存されるのです。試験勉強のとき、英単語を何度も反芻(はんすう)したり、歴史上の年代を語呂(こゝろ)合わせしたりしたのは、短期記憶を長期記憶にするための作業だったのです。

話がそれましたが、年をとるにつれて、記憶に必要な注意力や海馬の能力は衰えていきます。注意力が衰えて、感覚器官から取り込む情報量が減る上に、短期記憶から長期記憶に変換する処理能力も落ちてしまうのです。もともと人の能力には限りがあります。加齢とともに能力がさらに限られていくため、老人はこの限られた能力を、ポジティブな記憶に当てるのです。

オ 近年、脳科学の発達によって、ネガティブな感情とCポジティブな感情は、脳で処理される場所が異なることがわかってきました。ネガティブな感情を処理する場所は海馬のすぐ隣の扁桃体(へんとうたい)という器官が中心であり、海馬との結びつきが強いこともあって、高齢になって海馬が衰えると、その影響を受けてネガティブな感情も感じにくくなるらしいのです。このようなわけで、ネガティブな感情に彩られた記憶も少なくなっているのかもしれない。

(佐藤真一 著 『老人は謎だらけ 老年行動学が解き明かす』より)

問一 空白部ア、オに当てはまる言葉を次から選んで番号で答えなさい。

- |        |         |        |       |
|--------|---------|--------|-------|
| 1 もしくは | 2 したがって | 3 おそらく | 4 さらに |
| 5 つまり  | 6 まず    | 7 ところが | 8 そして |

問二 傍線部A、B、C、について、品詞を答えなさい。

問三 傍線部①について、「ネガティブ」「ポジティブ」の意味を答えなさい。

問四 空欄②について、ここに入る適切な言葉を選んで解答欄に書きなさい。

覚悟                      実感                      意味                      値打ち

問五 空欄③について、ここに入る適切な言葉を選んで解答欄に書きなさい。

役割                      価値                      根拠                      努力

問六 傍線部④「端緒(たんしょ)を聞いた」について、別の言い方を答えなさい。

問七 傍線部⑤「それ」が指し示すことがらを答えなさい。

問八 傍線部⑥「説明がつく」について、どのようなことですか？具体的に説明しなさい。

問九 傍線部⑦「想起ができないのです」の主語を答えなさい。

問十 傍線部⑧「海馬」はどんな働きをするのか、二十字以内で答えなさい。

二、カタカナ部分を漢字で書きなさい。(送り仮名が必要な場合もあります)

- ① 心臓がハクドウスル
- ② リンチジツシユウを開始する
- ③ 出場回数をホコル
- ③ いろいろなセンタクシがある
- ④ 立候補をジタイスル

三、傍線部の漢字の読みをカタカナで書きなさい。

- ① 暫定的な対応
- ② 幾何学模様
- ③ 自己免疫疾患
- ④ 覚醒する状況
- ⑤ 衝撃を受ける

四、①から⑤はそれぞれ対義語になります。( )に適切な漢字一字を入れ完成させなさい。

- ① 拡大 — ( ) 小
- ② 勝利 — 敗 ( )
- ③ 個人 — ( ) 体
- ④ 起床 — 就 ( )
- ⑤ 増加 — ( ) 少

## 小論文問題

題 「マナーとルールについて」

六百字程度で論じなさい。